

研究講習事業報告

学発番号： 学23-046

事業名： 令和5年度京臨技遺伝子検査講演会

日時： 令和6年2月24日(土)13:00～16:50

場所： TKP京都四条駅前カンファレンスセンター

主 題1： 遺伝子検査の資格を取ろう～遺伝子分析科学認定士と認定臨床染色体遺伝子検査師～

講 師1： 多々見 寛満 技師(京都大学医学部附属病院 検査部)

主 題2： ポストコロナにおける遺伝子検査装置の活用～POCT装置編～

講 師2： 中川 敬仁 氏(アボットダイアグノスティクスメディカル株式会社)

主 題3： ポストコロナにおける遺伝子検査装置の活用～全自動装置編～

講 師3： 曾家 義博 氏(東洋紡株式会社)

主 題4： ポストコロナにおける遺伝子検査装置の活用～汎用リアルタイムPCR装置編～

講 師4： 白神 博 氏(サーモフィッシャーサイエンティフィック)

主 題5： がんゲノム医療の現状と今後

講 師5： 神菌 修司 氏(アルフレッサ株式会社)

参加数： 総数:13名(京臨技会員:13名)

報告者： 白井 洋紀(京都第一赤十字病院 検査部)

以下、講演内容など

主 題1では2種類の認定資格について、概要から例題を用いた練習問題などを提示していただき、これから資格取得を考えている技師に役立つ情報を講演頂きました。主 題2～4では、新型コロナウイルスで導入が加速した装置メーカーに今後の運用に関する情報提供をしていただきました。主 題5では、がんゲノム医療について、分子標的薬や全ゲノム解析に関する最新情報やバイオインフォマティクスとして検査技師が関わることを講演してきた頂きました。会場やWEBからも質問があり、盛会に終えることができました。